

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科

音楽科

学年

3年

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を身に付けることを目指す。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	<p>【歌唱】 ・花(共通教材)</p> <p>【鑑賞】 ・ブルタバ ・ボレロ</p>	<p>【歌唱】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解し、歌唱表現を工夫して歌う。</p> <p>【鑑賞】 ・オーケストラの豊かな響きの音色や音楽の構造による曲想の変化を理解し、楽曲のよさや美しさを味わって聴く。</p>
2学期	<p>【歌唱】 ・クラス合唱曲 ・学年合唱曲 ・全校合唱曲</p> <p>【器楽】 リコーダーアンサンブル</p> <p>【鑑賞】 ・世界の諸民族の音楽</p>	<p>【歌唱】 さざなみ祭にむけて、曲にこめられた想いを感じ取り、詩と音楽との関わりを学習して、クラスが一体となった合唱を作る。</p> <p>【器楽】 ・旋律の重なりに注目し、奏法を工夫しながらリコーダーを演奏する。</p> <p>【鑑賞】 ・世界のさまざまな楽器の音楽に親しみ、音楽の多様性について理解する。</p>
3学期	<p>【歌唱】 ・予餞会合唱曲 ・卒業式歌</p> <p>【器楽】 ・ギター</p> <p>【創作】 ・カトカトーン</p>	<p>【歌唱】 ・曲想の違いや、パートの役割を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</p> <p>【器楽】 ・ストロークなどギターの奏法を工夫して、楽器演奏に親しむ。</p> <p>【創作】 ・タブレットを活用し、簡単なリズム創作を行う。</p>

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 学習の内容をどれだけ理解しているか。 曲想と音や音楽の特徴と関わらせて理解しているか。 正しい音程、リズムで音楽表現ができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記テスト(知識の定着を見ます) 実技テスト(技能の能力を見ます) プリント等の提出物
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 曲にふさわしい表現をどう工夫したらよいか思いや意図をもっているか。 リズムや旋律、強弱などを知覚・感受しながらどのように音楽を創作するか思いや意図をもっているか。 音楽を根拠をもって評価しながらよさや美しさを味わって聴いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント等の提出物 楽譜への書き込み
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、反省点や目標を見出しができているか。 音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に学習に取り組んでいるか。 意欲的に歌おうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み プリント等の提出物の取り組み 学習カードの記述

(2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

音楽では、授業への取り組み、プリント等の提出物の取り組み、実技テスト、筆記テスト、毎時間の学習を振り返る学習カードへの記述から評価します。得意不得意にかかわらず、意欲的に学習に取り組みましょう。

4. 教科に関するアドバイス

音楽は、みなさんの気持ちが表れる教科です。ぜひ、思いっきり音楽を楽しみましょう。ただし、メリハリも大切です。活動の時間、話を聞く時間、切り替えをしっかりとして授業に取り組みましょう。音楽は人を勇気づけたり、音楽を通して世界中のひとつながったりするとても素晴らしい力をもっています。また、仲間とともにつくり上げる合唱、演奏はとても感動的です。豊かな心をもち、音楽を通して感動体験をしましょう。

基本的に週一回の授業なので、授業準備、授業に取り組む姿勢、提出物など全てにおいて評価に大きく関わります。前時の授業に欠席した場合は、教科担当からも声を掛けますが、プリントをもらいに来たり、テストの再受験日を確認したりするなど、学習の遅れをとらないように必ず自分から行動しましょう。